

# ぼだい樹 号

2002/2/1

津島市神明町 2  
元神宮寺宝寿院

## 宝寿院行事ご案内

FAX変更 0567・25・4199

三月二十一日自由参加 弘法大師正御影供

宝物展・写経

除幕式 於大師堂

四月七・八日

降誕会 甘茶有

五月三・四・五日 スタンプラリー

昨年はコース毎にスタンプを集めると記念品がもらえましたよ。

ところてん 出店

文化財展示 写経会

沙羅の会会員募集中 御連絡ください。

宝寿院行事などに参加協力します。

毎月 一・八・十五日 十時

厄除け・病氣平癒の護摩祈祷を厳修

毎月 二十一日 十時 弘法様縁日午前中

お経の練習と 詠歌のお稽古開催

誰でも参加できます。 観音経・心経

寒中お見舞い申しあげます。

平成十四年の正月行事は 皆様のご協力により 無事終了する事が出来ました。

今年 は元朝護摩の御札を迎えに来ていただく方が 皆さん早く来られ、ほっとしています。年賀状にも書きましたが、住職も皆様の励ましにより 元氣を取り戻し、春が来るのを楽しみに待っています。弘法様春分の日には是非 リハビリを卒業して帰ってもらいたいと熱望しています。

おしゃか様の教えの中で人が生きて行く上で 絶対 避ける事の出来ない苦しみを四苦八苦といい、四苦とは生老病死の苦しみを示しています。おしゃか様はこの苦しみを城内から垣間見て発心されました。人々の苦しみを救うには どうしたら良いのかと苦しみ抜かれた末に お城を出て山岳修行に入られました。住職の苦しみに直に触れ今まで考えていた老苦とは 程遠い本当に 辛い苦しみを知りました。誰もが行く路ではあります。心して吾老いを、見つめていきたいと思っています。

## 宝寿院歳時記

一月三日の早朝 何時ものように玄関の扉を開けてビックリ。 積雪五十センチ。

木々のメシメシと裂ける音がして、その上 どんどん降り止まず一瞬どうしたら良いのか判断が付きません。 本堂を開き 何とか光明殿に着き 入れ忘れた金のなる木 今年 は花が一杯 助けたい一心で部屋に入れ暖房にしてやりました。 一ヶ月経過 節分には花盛りを 観ていただきます。

雪は 大変ですが良い事もあります。 春が早くやって来ます。 水分をもらった土から 露のとうが顔を出し 雪で潰れた春の草花も 生き返って嬉しそうです。

一月二十日中日 朝日新聞 朝刊に住職が 写真と共に掲載されました。



蘭花の会